



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2198

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森信秀樹
幹事 謙訪昭浩

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC [検索]



「ロータリー理解推進月間」

2015年1月15日 第2174回例会
1月第2例会

◆会長時間◆

森信会長



皆さんこんにちは。本日1月15日は、かつては「成人の日」という祝日でした。この日に成人式に参加された方が多いかと思います。平成10年の法律改正により平成12年より成人の日は「1月第二月曜日」に変わりましたので、各地では日曜日と月曜日に分散して開催されているようです。この時期に連休が増えることによる経済効果もあるようです。それまで1月15日に行われていたのは、この日までがいわゆる「松の内」であったためということのようです。

昔はこの日まで門松やしめ縄を飾っており、町内のとんどもこの日に開催されていましたし、お年玉年賀はがきの抽選も行われていました。最近では関東の風習にならってか、七草粥を食べる1月7日には門松などを取り外すことが一般的になってきているようです。私どもでも11日に開催された町内のとんどにしめ飾りを持っていき燃え上がる炎の中に投げ入れました。

さて、「変わる」というキーワードでのロータリーの話題です。先週、謙訪幹事から報告があつたかと思いますが、RIは昨年10月の理事会でロータリーの特別月間を大幅に変更いたしました。今

年まで今月は「ロータリー理解推進月間」でありましたが、来年からは「職業奉仕月間」となります。これはRIの進める重点分野を改めて強調するための月間の変更のようです。これに伴い、例えば昨年12月の「家族月間」は廃止されました。すでに準備段階に入られている次年度におかれても、さっそくスケジュール表やプログラムなどの変更・調整等が始まっています。

毎月の特別月間の名称（テーマ）は変わりますが、クラブとしての取組みと取り上げ方は工夫次第ですので、これを機に是非良いものにしていただければと思います。

●会務報告 謙訪(昭浩)幹事

■本日「広島14RC合同懇親ゴルフ大会」のご案内を配布しておりますので、多数のご参加お願ひいたします。

●第7回理事会報告

1. 報告事項

1. 合同幹事会及び合同事務局運営委員会報告。
IMは全員登録。
2. 12月収支決算について報告。
3. ボーイスカウト運動への支援礼状、第34回ひろしま国際平和マラソン報告書を回覧。
4. 広島豪雨災害支援について地区からの依頼

事項を説明。集まった義援金8,000万円のうち公募によって約1,000万円の支援が決定され、当クラブは上安学区社会福祉協議会への支援をサポートする担当クラブとなる。

2. 審議事項

- 前回議事録の承認。
- 12月20日原爆死没者慰靈碑平和の池多言語板の修理並びに清掃活動報告書を承認。
- 12月5日青少年交換学生歓迎会 活動報告書を承認。
- 鈴峯インタークトクラブ卒業生への表彰状贈呈 活動計画を承認。
- 1月22日ロータリー情報強調プログラム活動計画を承認。
- 2015-16年度地区補助金申請について承認。
- 国連WFPエボラ出血熱緊急支援への寄付、傭比国育英会バギオ基金への寄付については当初の寄付金の予算総額をすでに上回っている等の理由により不承認。
- ロータリーデーをメークアップ対象とすることを承認。

3. 協議事項

- 1月22日の第4回クラブ協議会は45周年実行委員会と併せて開催。副委員長にも案内することとする。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 柴田委員

本 日 (1月15日・木曜日)

会員数 77名 出席者 66名

欠席者 11名 ご来客 2名

ご来賓 0名 ゲスト 3名

計 71名

前々回 (12月18日・木曜日)

出席率 100%



※ 青少年・インタークト委員会 三浦委員

本年度、鈴峯学園インタークトクラブから11名が卒業いたします。

つきましては、明日(16日)、森信会長より表彰状と記念品の贈呈を行ないます。

※ 国際社会奉仕委員会 大植委員長

鈴峯学園バングラデシュ・プレスクール

「スズガミネ」校への文具支援のお願い

鈴峯学園では平成12年にバングラデシュのコックスバザールにプレスクール（小学校に入学する前の子供達の為の学校）を設立以来、インタークトクラブを中心に募金を募ったり、飲料缶のデポジット等を行う等、全校を挙げて同校の維持、支援を続けておられます。

当クラブとしても昨年に引き続き文房具の収集を支援したいと思いますので、2月26日の例会日までに、例会場に皆様やご家族の使っていない鉛筆やノート等の文房具をご持参頂ければ幸いです。

ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

※ 創立45周年記念事業委員会 鮫島委員長

ロータリーデーのご案内

当クラブは3月7日をもって創立45周年を迎えます。これを記念し、五日市みずとりの浜公園において記念植樹及びベンチの塗装等を実施し、地域環境の整備に貢献したいと考えています。

つきましては、それらを近隣住民の皆様やインタークトの生徒達と一緒にに行うべく、下記の通り「ロータリーデー」を計画いたしましたので、ご家族お揃いでご参加戴き、是非ともご協力戴きますようお願い申し上げます。

日時：平成27年2月22日(日) 雨天決行

場所：五日市みずとりの浜公園

(広島市佐伯区五日市町)

10:00 記念式典

10:30 記念植樹、既存ベンチの再塗装、公園内清掃

12:00 お土産・お弁当配布、解散

※ 会報雑誌・広報委員会 原委員

ロータリーの友誌紹介

※ 次年度梶本幹事

次年度委員会配属表の配布について

● 同好会報告

※ 紫友会 吉田世話人

去る1月10日土曜日、広島ゴルフ俱楽部鈴ヶ峰コースで行われた1月例会の報告です。

参加者20名で2015年の初打ちを制したのは、アウト39 イン39 グロス78 HD2.7 ネット75.3 上田さんです。おめでとうございます。

尚、上田さんは同時にシニア優勝もベスグロも手にされ、新年早々3冠王でした。2位はグロス96 垂井さん、3位はグロス84 篠さんでした。残念ながらブービーは自称世話人疲れの新本さんでした。

次回は2月21日第3土曜日広島ゴルフ俱楽部 鈴ヶ峰コースで開催予定です。皆さんのご参加をお待ちしています。

最後にお知らせを1点。2014-15年度の「広島14ロータリークラブ合同懇親ゴルフ大会」のご案内を本日皆さんのボックスに入れております。今年も4月26日(日)広島カンツリー俱楽部 西条コースで行われますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

●会員記念日

祝 連続出席100% (9名)

坂田君 (31年)	荒谷君 (24年)
井原君 (23年)	加藤君 (8年)
中山君 (4年)	柴田君 (4年)
片山(恵)君 (3年)	松岡(幹)君 (3年)
中岡君 (2年)	



ご結婚記念日おめでとうございます。

(6名)

片山(恵)君	安部君	上田君
中岡君	宇野君	前橋君

●スマイルボックス

SAA 羽井委員

柴田君 (自主申告)

本日、バングラディシュの案内が配布されますが、私と長男がこれに便乗させて頂いてもう1年がたちます。なんと、行く前にあれだけ嫌がっていた長男ですが、「お父さん、今回も参加させてほしい」と言って来ました。鈴峯の西村校長先生に相談したところOKのご返事を頂きました。

息子の気持ちの変化を喜び、出宝させて頂きます。

●タバコ記念日

愛煙家の皆様お待たせしました。

1月13日は「タバコの日」です。1946年のこの日、高級たばこ「ピース」が発売されました。当時、10本入りで7円で、日曜・祝日に1人1箱だけに限られていました。

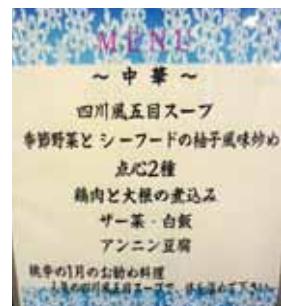
日ごろから一服に心を癒されている愛煙家の皆様、タバコに感謝してご出宝下さい。ヘビースモーカーを自負されている方はダブルでお願いします。

皆様の健康を心から願っています。禁煙された方、嫌煙家の皆様は5月31日の世界禁煙デーまでお待ち下さい。

●紫友会1月例会

優勝、シニア優勝、ベスグロで上田君フォース。2位の垂井君、3位の篠君、ブービーの新本君、ご出宝下さい。

●例会料理メニュー



■卓話

年男放談。



<年男放談>

上田 欣一君

皆さん、明けましておめでとうございます。

昭和18年生まれ、6回目の年男を迎える上田でございます。

平成12年入会以来、2回目の年男放談ということでございますが、あつという間の12年間でした。その間、会員の皆様からいただいたご指導とご交誼に心から感謝を申し上げます。

今年72歳になるわけでございますが、最近は体の衰えを感じ、朝もなかなかベッドから出られない日もあり、だんだんと規則正しい生活が出来なくなつて来ておりますが、毎週木曜日には、例会への出席という節目のある生活が送れるという事は西ロータリークラブに入会させていただいたお陰と大変感謝いたしております。

未年ということで、未年生まれの性格を少し調べてみました。

- ① 人当たりが良くて温和、困っている人を見る
と何とか出来ないか考え親切にしようと頑張る。人との争いや対立を好まない。など往々にして人間関係は良い。
- ② 物事にはかなり慎重でギャンブルなどには手を出さない。きれい好きで落ち着いた生活を送る人が多い。
- ③ 未年の弱点は、人に親切にしたいと思う優しい性格からイヤと言えないことがあり、そのため頼まれごとで時間を費やしてしまうことがあるそうです。

改めて自分に置きかえてみると、ほとんどが自分に当てはまり、未年生まれの性格そのままだと思っております。この性格のお陰で西ロータリークラブにも、15年間という長い間在籍させてもらい、沢山の仲間と楽しく過ごさせてもらっていると思っており、未年生まれに感謝をしている所でございます。

参考までに昭和18年の物価を2・3調べてみました。

- ① 大卒銀行初任給 75円
- ② たばこ（ゴールデンバット） 23銭
- ③ 新聞購読料 1円20銭
- ④ 映画館（封切館） 80銭
- ⑤ ビール 90銭
- ⑥ もりかけそば 13銭

だったそうです。

こういった物価の時代に生れたのかと隔世の感があり大変感慨深いものがあります。

次に我が社で扱っている昆布についてお話ししてみたいと思います。

私たち日本人にとって昆布は実になじみ深い食材と言えます。

昔から縁起物として扱われてきましたが「こんぶ」の語源はどうやらアイヌ語からきてているようです。たとえば、同じくお正月の縁起物「かずの

こ」はアイヌ語の「カドニニシン」の子が変化した言語だそうです。「こんぶ」という語感も日本語よりアイヌ語の響きに近い感じがします。

日本人は食用の海藻のことを「め」と呼びます。昆布を「ひろめ（広布）」と言った時代もあるそうです。北九州市に和布刈（めかり）という古い神社が残っていますが、大晦日に神官が「め」を刈り取って神にお供えする神事がありますが、こういった事から昆布などが海藻がいかに大切にされてきたかを物語っているように思います。

最近では海外でも使われるようになった「うまみ」という言葉。旨みの正体であるグルタミン酸ナトリウム。昆布には旨み成分だけでなく、食物繊維やカルシウム、ヨウ素など貴重な栄養分が沢山含まれています。

そんな化学的根拠がまだ明かされていなかった遠い昔の日本人は昆布が美味しいことや健康食品であることをちゃんと知っていたようです。

日本で初めて「昆布」という文字が登場したのは「続日本紀」でした。797年蝦夷（えぞ）の須賀君古比留（すがきみこまる）という人が朝廷への貢物として昆布を献上したとの記述が最古のものだとされています。

しかし、それよりもっと前から日本では昆布が食べられてきました。縄文時代の遺跡から土器と一緒に昆布が見つかるなど、私たちの祖先は大切な栄養補給源として美味しい昆布を食べていたようです。

そんな古くから食べられている昆布を専業としている当社は大正4年創業で、今年100周年を迎えます。

創業のころは、おぼろ昆布、とろろ昆布、出し昆布などの加工・販売をしておりましたが、昭和15年頃から、当時の娯楽として銀幕（映画）ブームがおこり映画館の中で「おせんに、キャラメル、スコンブ」と言いながら、売子に売つてもらい、大そう儲かったそうです。

その後、昭和42年に新商品「新しい日本のガム」というキャッチフレーズで「おしゃぶり昆布」の発売を始めたところ大ヒット商品になりました。

現在では、菓子・珍味等の昆布をほぼ専業として全国に広く薄く販売しております。

先代が残してくれた言葉「美味しい身体に良い昆布を全国の人の口に入れていただきんだ！」という気持ちを大切にし、これからも新しいもの

にチャレンジしていきたいと思っています。

次にゴルフについて少し話をしてみたいと思います。

皆様はジャックニクラウスやアーノルドパーマーというアメリカのスーパースターの名前をよく覚えておられる事と思います。

パーマーはマスターズに連続出場50回の記録をもっています。

2004年のマスターズが最後の出場でその時、彼は74歳でした。

後にジャックニクラウスがパーマーに「試合で刻んだことがあるか？」と聞いたところ「一度もない。刻んでいたらもっと勝っていた」と答えたそうです。どんな状況でもピンに向かって一直線に狙うという戦法が多くのファンを魅了しました。

そんな彼が最後のマスターズに出場した時のシーンをよく覚えています。

久しぶりに見た、あのスーパースターは少し猫背でシワだらけの顔になっていて、その老人の姿を見た時は少し哀れで悲しくなりました。しかし、その時彼は74歳ゴルファーとして技術的にも精神的にも一番充実していると言っているのです。

還暦から12年、私も今年72歳、決してアーノルドパーマーと比較しようなど恐れ多いことを話すつもりは毛頭ございませんが、年をとりゴルフに情熱を失いかけそうになっている方に熟年のゴルフの楽しみ方を私なりにお話ししてみたいと思います。

飛距離やスコアで一喜一憂するゴルフはもう卒業してゴルフ仲間と和気あいあい楽しくプレイする事を究極の目的として行きたいと思います。

私ごとで申し訳ございませんが、私はアマチュアゴルファーとして多くの経験をさせて頂きました。競技ゴルフが中心で、クラブ競技、対外試合と、私なりに頑張っていました。熱中したゴルフから人間育成をさせて貰い、沢山の方々を知る機会に恵まれ、多くの貴重な友人を得たのは最高の宝物と思っております。

私の人生はゴルフが支えてくれたと確信しております。

そんな私も、ドライバーは50ヤード、アイアンは2クラブ以上飛ばなくなってしまいました。飛ばないからあちこちに無理な力が入り、ミスショットを重ねるという老人癖が最近の姿でございます。

齢（よわい）を重ねるとは悲しいことだなあと

思います。

特にゴルフは飛距離と方向性、スコアという容赦のない現実が目の前にあり、つくづくゴルフが嫌になることもありますが、一晩寝ると忘れてしまうということも最近出来るようになりました。

今では、ゴルフ仲間と和気あいあいとプレーすることが最高の楽しみですが、同じプレーするならみんなに迷惑をかけない、またゴルフのにぎりでも皆さんから愛される年寄ゴルファーになれたると思っております。

我々の世代はゴルフのレッスン書やレッスンプロが少なかった時代ですから、ほとんどの方は自己流でやってきました。

年をとると体力の低下と自己流が邪魔をして思うような良いプレーをさせてくれません。

無意識でショットしていた昔と違いOBを避け、バンカーを避け、風の方向を考え、グリーンの状態、スイングの手順など、戦略的と言いますか、仕方ないと言いますか、いろいろと考えながらプレーしております。

この考え方方が上手くいき、思い通りプレー出来た時は最高の気分を味わうことができます。

皆様も、色々と考えながら目的に向かって、少しゴルフの頭を使い、楽しいゴルフをして頂ければと思います。

アーノルドパーマーが言った言葉、意味は全く違うとは思いますが、長いゴルフ人生の中で私が「今が一番充実している時なのかなあー」と感じる今日この頃でございます。

これからも、この年寄ゴルファーを見捨てずいつまでもお付き合いいただければと思っております。

まとまりのない話、最後までお付き合いいただきありがとうございました。



＜新春放談＞

山木 靖雄君

私が広島西ロータリークラブに入会したのは、昭和55年7月で37才と1ヶ月の若造でした。まだ広島青年会議所のメンバーとして、社会奉仕と友情を暖めあう仲間たちと楽しく活動していた頃でした。

隅田義彦（チャーターメンバー）先輩に「広島

西ロータリーに入会しなさい」と誘われた時、「まだJCを4年間残してあるのに、ダブルでの活動は出来ません」と断りましたが、「広島西ロータリークラブの了解もとてあるから」と、無理矢理入会させられたのでした。

楽な委員会に配属するということでしたが、決まったのは親睦委員会と会報雑誌委員会の二委員会かけ持ちでした。

当時は、中国新聞社の7階での例会で土曜日でしたので、午後は会社に帰り、6時迄卓話のテープおこしの毎週でした。

会長は日吉富美夫さんで、園尾さんや田中龍三さん、木村博雄さんなどチャーターメンバーの方々にかわいがってもらいました。

平成16年7月～17年6月の間、会長としてロータリー100周年の記念の年を務めさせてもらい、思い出の多い一年を過ごした事は忘れられません。

香川会長年度には、香川さん、諏訪さん達とシカゴロータリーを訪問し、姉妹クラブの話を確認した後、ワシントンDCやニューヨークを散策しながら、アメリカの国力や経済力のすごさを見ました。

西ロータリークラブの創立35周年記念事業や台南ロータリークラブの歓迎会など多くの事業をやり上げたのもロータリーメンバーの協力のおかげでした。

前回60才の時は、「父と盆栽」の事を話しましたが、年男放談も3回目となります。ロータリアンとしても35年の歳月が流れた事になります。今回は何を話そうかと考えましたが、いい話もありませんので、県議会議員に43才で当選し、28年間議員活動を行ってきた中での一端を話してみたいと思います。

政治とロータリークラブの話の中では、ロータリアンが政治家になるのはいいが、政治家がロータリークラブに入会するのは認めないという事です。

私の場合は6年間ロータリアンとして活動しており、奉仕の場を議員として高めていく、あるいは、広げていく事であるからと広島西ロータリークラブの全員が賛成して、ひまわり会という応援団を作ってくださいました。

園尾さんが会長を、川西さんが幹事を引き受けくださいり、現在まで続いています。

ところが、議員である人が所属する会社の名前でロータリークラブに入会している例があります。議員である事を表に出さず入会したのでは、定款

細則に合致していない事になります。メンバーの少ないクラブでは、拡大の為に行っているのかもしれません、ガバナーの見解を聞きたいものと思っています。

ライオンズクラブでは、自由に入会されているようです。同じ奉仕の世界で活動しているのですから、どちらがいいのか考えていただきたいと思います。

今年4月は、地方統一選挙の月となります。広島県議会、広島市議会、広島市長などの選挙ですが、一票の価値の大切さを考えてほしいと思います。自由な選挙を求めて香港では大規模なデモがありましたが、投票に行かない人が多いのは、いかがなものかと考えます。

立候補する人も、「出たい人より出したい人」を応援すべしとか言いますが、立派な人に出てもらいたいと思います。広島市議会の有様はいかがなものか、みんなで真剣に対応すべきだと思います。

「5期20年県議をやればよい」と言われて議会へ出て、早や28年も議員生活を送ってきた事になります。

議員活動の主な仕事は、県民からの要望を行政につたえ、実現させる事だと思います。

自分でよくやったと評価できるものは、横川駅前の交通結節点改良事業です。横川商店街、横川商店街振興組合、三篠社会福祉協議会、各町内会などの要望で、国土交通省、広島市、広島電鉄、JR広島支社などの関係機関をまとめて、連絡調整を行い、国の予算を取り込んで実現させました。この時は各関係機関の重要ポストに、私の知人友人がいた事が事業の進展に大きく寄与したと思っています。

今一番力を入れているのが、アストラムラインの西広島駅までの延伸でありますし、西広島駅周辺の区画整理と再開発事業の早期着工などであります。広島石内団地にイオンが進出、アストラムラインの歌もできる事になりそうですし、県道伴広島線の道路もやっと工事着工しましたので、早期完成にもっていきたいと努力しております。広島市で唯一、原爆被災の駅舎が残っているのが、己斐の西広島駅であります。

全国都道府県駅伝の全国放送テレビの画面に、西広島駅が写るのをはずかしく思うこの頃です。

多くの人々から「がんばれ。まだ若い。あの仕事をやれ。やめたら、誰に頼めばいいのか。」と言われて28年が過ぎてきましたが、20年でや

めるどころか、いつになつたらやめれるのかと思ひます。

ロータリアンと議員と仕事の三本柱を背負って28年間、よくやってきたものだと思います。

まだ残した仕事もありますので、元気でがんばりたいと思っております。ロータリーの皆様にも今後共、御指導のほどよろしくお願ひいたします。



<僕倅に恵まれて>

福田 康彦君

遂に7回目、6週目の年男を迎えることになりました。これまで迎えた7回の年男の年を振り返ることで卓話とさせて戴きます。

私は終戦2年前の昭和18年、1943年、10月13日に生まれました。その8日後の10月21日に東京神宮外苑競技場で雨の降りしきる中、第1回の出陣学徒壮行会が行われ大学、専門学校在学中の学生たちが戦地に送られました。先日テレビでその壮行会の録画が放映されましたが、角帽を被った学生たちがゲートルを履いた足で泥水を跳ねながら行進する白黒の映像とスタンドからそれを見送った当時の女学生の悲しい思い出話に感無量の思いが致しました。私の生まれた柳井町（今の柳井市）は広島市からわずか60kmの距離ですが、子供のころに敗戦を思わせる風景は全く記憶になく、のどかで明るい海沿いの街でした。周防大島近海ではいくらでも鯛やチヌが獲れますので、牛肉こそあまり食べることはませんでしたが、物心についてひもじい思いをしたことはありません。2度目の羊年を迎えた12才まで、この街で何不自由なく幼稚園、小学校時代を過ごすことができました。今戻れるなら戻りたい古き良き日本を凝縮した懐かしい時代でした。

昭和42年、1967年、24才3回目の年男の年ですが、中学校から移り住んだ広島の高校、大学に進み、広島がすっかり第二の故郷になっておりました。団塊の世代より4年早く生まれたおかげで、受験競争も激しくなく塾通いの経験もありません。24才の自分は広島大学医学部卒業を控えて勉学に励んでいなければならなかつたのですが、当時学園紛争が吹き荒れておりました。しかし、自分は

まったく学生運動に興味がなく、野球の部活に打ち込んでいた記憶しかありません。卒後も国家試験ボイコットや入局ボイコット運動が続けられ、それを良いことに自堕落な毎日で、医師として散々の門出でございました。

36才、4回目の年男は昭和54年、1979年ですが、私は広島大学医学部第二外科入局後10年が経過し、博士論文のために移植免疫の研究に日々明け暮れておりました。30才時に結婚もしております。この年アメリカペンシルベニア大学に留学致しました。亡くなつた父がプラットホームに立って見送ってくれた姿が思い浮かびます。当時1ドルが300円前後の時代で、留学費の工面に苦労はしましたが、まだアメリカも良き時代の名残りがあり、アメリカでの生活をそれなりに楽しみました。

平成3年、1991年、48才5回目の年男は大学の助教授に就任した年ですが、臓器移植と血管外科を任せられて外科医としてもっとも脂の乗った時期でございました。世間はバブル崩壊で大騒ぎでしたが、自分には何の影響もなく、手術と学会活動に没頭していました。

平成15年、2003年が60才6回目の年男でしたが、県立広島病院の外科部長兼副委員長として管理職の仕事が中心になっていました。このころから医療崩壊の兆しが見え始め、医療事故などの対応や病院経営の厳しさも経験しましたが、所詮公立病院というぬるま湯にどっぷりつかった毎日で、まだまだ老いの実感には乏しい還暦でございました。

そして今年、7回目の年男を民間病院の院長として迎えましたが、さすがに寄る年波を感じる毎日でございます。しかし同年配の入院患者さんたちをみると、今健康に過ごしている自分の幸運を思わずにはおられない毎日でございます。

こうして見ますと、日本史上でも稀な戦争のないしかも奇跡的な経済成長の時代に、大学や病院という温室のような組織に守られてきたこれまでの人生は、これから最終章が待っているであろう困難を差し引いたとしても、おつりがくる僕倅に恵まれた時代に生きてきたと思っております。

● 卓話予告

日 時	テ　ー　マ
1/29(木)	年男放談 豊岡博夫会員、村上智亮会員、山下秀雄会員

